



やすひさの瓦版 (第106号)

2016年9月12日

自由民主党愛媛県第一選挙区支部長
衆議院議員 塩崎 恭久
〒790-0003 松山市三番町4-7-19
TEL 089(941)4843 FAX 089(941)4894

Home-page <http://www.y-shiozaki.or.jp>

E-mail shiozaki@y-shiozaki.or.jp

「働き方改革」で時代を切り拓く。今こそ改革のとき。

残暑なお厳しき折、お健やかにお過ごしでしょうか。日頃から皆様より温かいご支援、ご指導を頂いておりますことに、心より感謝申し上げます。

この度、第3次安倍第2次改造内閣におきまして、3期目の厚生労働大臣の重責を拝命しました。平成26年9月に大臣に就任して以来1年11ヶ月の間、様々な課題に直面しながらも、全力で職務に邁進できましたのも、ひとえに長年にわたり多大なご支援を頂いております皆様のお陰様と、心より感謝申し上げます。

この約2年間の在任中、「一億総活躍社会」を目指した働き方改革、子育て支援、介護環境整備や、子どもの権利擁護のための改正児童福祉法の成立、国際保健分野でのリーダーシップの発揮などにおいて、全身全霊を尽くしてまいりました。また、これからの20年先を見越した「保健医療2035」や「働き方の未来2035:一人ひとりが輝く

ために」および「医療系ベンチャーをイノベーションの牽引車に!」といった時代を切り拓く提言書の取りまとめを行い、その成果を実現するための推進本部等の立ち上げなども積極的に行ってきました。

またこの間、常に愛媛、松山のことに心を砕き、児童養護、障害者施策、介護環境など、それぞれの現場で活躍も、苦労もされている方々から生の声をお聞きし、政策に反映することを通じて、地域の置かれた厳しい現状に対処し、より良い環境、より良い地域づくりに貢献すべく努力をしております。愛媛、松山を全国のどこにも負けない地域にしていきたいと考えており、引き続き皆様の声に耳を傾け、ご意見を真摯に受け止めてまいります。

この2年間の経験を活かし、これまで以上の改革をさらに前進、具体化させていく決意です。皆様の引き続きのご支援、ご指導、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。



第3次安倍第2次改造内閣の発足にあたり、新たに厚生労働副大臣および厚生労働大臣政務官が就任。山積する課題に対して、最高のチームワークで全力を尽くしてまいります。(8/5、厚生労働省)



地元の夏祭り「松山まつり」に参加する。野球拳おどりに「青色申告会」の皆さんと例年通り出場し、大いに盛り上がる。沿道の皆さんの声援を糧に大街道・千舟町を練り歩きました。(最前列中央、8/13、松山)

「やすひさ」が行く、見る、聞く!



地元の道後小学校サマーキャンプに「ガンコおやじの会」として参加。(7/23、松山)



甲子園初出場の松山聖陵高校の応援に燃える。(8/12、甲子園球場)



「松山まつり」野球拳踊りの打ち上げに参加する。(8/13、松山)



地域の盆踊り大会を訪れ、笑顔と元気を頂く。(8/13、松山)

「地域共生社会」の実現に向けて



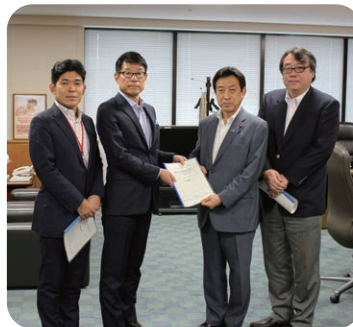
今年は障害者総合支援法施行から10年の節目、さらに今年4月から障害者差別解消法及び障害者雇用促進法が施行されたのに合わせて「安倍総理と障害者の集い」を総理官邸にて開催。松山発のアイデアともいえる「農福連携」を推進する皆さんも松山から駆けつけ、安倍総理とともに満面の笑み。(6/2、東京・総理官邸)

一人ひとりが輝くために



日本の労働政策担当大臣として、21年振りにILO総会にて演説。アベノミクスが「働き方改革」をその中心に据え、労働生産性向上を図ることを通じて日本の産業構造改革を強力に推し進めることにより、日本経済再生を実現し、同時に世界経済の持続的成長、貧困解消にも積極貢献する方針を説明。(6/8、スイス・ジュネーブ)

厚労省の「医療のイノベーションを担うベンチャー企業の振興に関する懇談会」メンバーからの最終報告書「医療系ベンチャーをイノベーションの牽引車に!『規制から育成へ』『慎重からスピードへ』『マクロからミクロへ』」を受け取る。(7/29、東京)



日本経団連、日本商工会議所、経済同友会、全国中小企業団体中央会が主催する「働き方・休み方改革セミナー」が経団連会館で開催され挨拶。年次有給休暇を取りやすい環境をつくり、仕事も家庭も充実した、幸せ度の高い生活を送ることができるよう、国としても力強く後押ししていきたい。(7/27、東京)



厚労省の「働き方の未来2035:一人ひとりが輝くために」懇談会のメンバーから、同懇談会の最終報告書を受け取る。「働き方」は今後の日本の肝であり、その内容を具体的に実現・実行していくことが大切。そのために、厚労省内に「働き方の未来2035推進本部」を発足させた。(8/2、東京)

Topics



「働き方の未来2035:一人ひとりが輝くために」とは2035年を見据えた改革のため、平均年齢47.5歳の有識者に、往來の発想にとらわれない自由な議論をしていただき、取りまとめられた時代を切り開く報告書。一人ひとりが希望や選択に基づき、個々の特性や可能性を最大限活かした、多様な働き方ができる日本を目指します。

～あなたの声を政策に～ 参加者大募集!

ご近所やサークル、職場、ご友人など、お仲間の輪の中に塩崎やすひさが参ります。ぜひ皆さんの暮らしの「生の声」をお聞かせ下さい。

連絡先: 塩崎恭久事務所
089-941-4843 (早瀬・中田)

